

R 8 年 8 月放送分
「日米交流事業について」
(日本の防衛 Q & A)
(自衛隊百科)

R8. 7. 21 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局から 2 名の職員にお越しいただきました。
まずは、自己紹介をお願いします。

【高橋】

はい。東北防衛局地方協力確保室の高橋と申します。私自身 3 回目の出演ですが、まだ慣れていません。皆様に分かりやすい言葉でお伝えできるように頑張りますので、よろしくお願いします。

【白鳥】

同じく地方協力確保室の白鳥と申します。宮城県栗原市の出身です。4 月 1 日に新規で採用され、日々楽しく業務を行っています。初めてのラジオ出演で緊張していますが、本日はよろしくお願いいたします。

【パーソナリティー】

はい。よろしくお願いします。
本日はどのようなテーマのお話でしょうか？

【高橋】

はい、本日は日米交流事業についてお話したいと思います。

【パーソナリティー】

日米の交流事業ですか。東北防衛局では、どのような交流事業をされているのですか。

【高橋】

はい。東北防衛局では、在日米軍と地域住民との相互理解を深め、良好な関係を構築することを目的に、スポーツ、文化活動などを通じて交流する「日米交流事業」を、米軍車力通信所が所在する青森県つ

がる市、それと米軍三沢基地が所在する青森県三沢市、東北町で行っています。

【パーソナリティー】

かかし作りやひな祭りなどですね。

【高橋】

はい。その通りです。

今年も7月に、車力通信所の米軍人と地元つがる市立車力小学校の5年生がかかし作りを通じて、交流を深めました。

車力小学校では、5年生が田植えや稲刈りといった稲作を体験する授業を行っています。田植えや稲刈りには、車力通信所の米軍人もボランティアで参加しているのですが、東北防衛局もこの授業に関連して、車力通信所の米軍人と一緒にかかし作りを体験しながら交流するイベントを企画しています。

米軍人も日本の稲作文化に触れながら、地元の児童と交流が図れるとあって、毎年好評のイベントなんです。

詳しい様子は、田植えとかかし作りに参加した白鳥から紹介します。

【白鳥】

はい。私は、6月の田植え、7月のかかし作りに参加しました。

6月の田植えは、5年生19名が田んぼに入り、機械を使わない田植えを実際にやってみるという体験学習で、米軍人9名もボランティアとして参加しました。はじめは緊張していた小学生たちも、この日に向けて勉強した英語とジェスチャーを交え、米軍人とコミュニケーションをとりながら、田植えをしていました。

参加した小学生も米軍人も、ぬかるみに足を取られて転ばないように気を付けながらも、顔に泥を付けて楽しく田植えを体験している姿が印象的でした。

【パーソナリティー】

田んぼで転ぶと大変ですから、慎重になりますよね。かかし作りはいかがでしたか。

【白鳥】

はい。東北防衛局が主催した7月のかかし作りでは、日米合わせて約30名が、日米混合の5チームに分かれて、かかし作りに挑戦しました。田植えで仲良くなった参加者は、日本語と英語を交えながら協力し、木の骨組みに縄や藁（わら）を巻き付けて、かかしの体を作成した後、浴衣やお面などの小物で、かかしの体を装飾し、2時間ほどで個性豊かな「かかし」を完成させました。

5体のかかしは、つがる市北消防署で8月10日まで、その後、つがる市役所で8月26日まで、車力小学校で9月中旬まで展示して、人気投票を行います。つがる市北消防署、つがる市役所での展示は、どなたでもご覧いただけますので、是非人気投票にご参加ください。人気投票の結果は、9月中旬の表彰式で発表する予定です。

【パーソナリティー】

とても楽しく交流している様子が伝わりました。地域を支えていく子供達と日本に駐留する米軍が日本の稲作文化に触れながら交流し、仲を深めていくことは、とても素敵ですね。

【高橋】

そうですね。私たちも出来るだけ長くこの交流事業を続けていきたいと思っています。

【パーソナリティー】

続いて、三沢市での交流事業について、紹介していただけますか。

【白鳥】

はい。次の冬、三沢市アイスアリーナで、三沢市と米軍三沢基地の小学生が、アイスホッケーという氷上スポーツで競う大会を開催する予定です。

アイスホッケーは、ホッキ貝のパックや長芋のスティックなど、三沢市の特産品をモチーフにした道具を使って、点数を競うアイスホッケーのようなスポーツです。多くの子供たちが安全に競技できるように、通常のアイスホッケーではなく、プラスチック製のスティックなどを使用するユニバーサルホッケーをベースにしています。

【パーソナリティー】

そうなんですね。スポーツ交流は勝敗がかかっているので、すごく熱く盛り上がりそうですね。

【高橋】

はい。アイスホッキーは、以前実施していたのですが、すごく人気があるイベントだったと聞いています。会場の改修工事があり、実施できずにいましたが、今回、7年ぶりに復活する予定です。我々としても、日米の子供たちが最大限楽しめるイベントにしていきたいと考えています。

【パーソナリティー】

大いに盛り上がるといいですね。

それでは最後に、東北町での交流事業を紹介していただけますか。

【白鳥】

はい。東北町では、日本の伝統行事「ひな祭り」を小川原湖交流センター「宝湖館」で開催する予定です。東北町と米軍三沢基地の小学生と保護者が、ひな人形が飾られた会場で、琴の演奏の鑑賞や、着付け体験や餅つき体験を楽しみます。

【高橋】

着付け体験は、特に人気で、子どもだけでなく、保護者の方もいろんなポーズをとった子どもの写真を撮影して、楽しめる企画になっています。

また、昨年度からは、ひな祭りにちなんだ料理体験も実施しており、参加者全員で日本の食文化も楽しめるイベントになっています。

【パーソナリティー】

着付けや餅つきは、なかなかできない、貴重な体験ですね。

【高橋】

はい。日米交流事業は、より多くの地域の皆さまと米軍関係者に参加していただき、交流を深めてもらえるよう、プログラムを工夫しながら、毎年実施していきたいと思っています。

【パーソナリティー】

本日は、日米交流事業について、高橋さんと白鳥さんからお話を伺いました。ありがとうございました。

【二人】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。